



学校だより No.4

令和7年(2025年)度
児童数612名
(6月23日現在)

だれかのために、だれかのおかげで

「がんばって。」

アリーナで、5年生と2年生のあるクラス同士で集まっています。体力テストの「シャトルラン」を2年生が実施し、その回数を5年生が数えていました。

「シャトルラン」というのは、ある一定の時間内に20m先まで走り、それを往復して繰り返していく運動のことです。時間内に何回繰り返すことができるかによって、持久力を測定します。

2年生とペアになっている5年生が、「がんばれ」と声をかけ、拍手を送っています。「最初はゆっくりでええからね」と、コツを教えてあげている様子も見られます。「まだ行けるよ。がんばれ」と頑張りを後押ししています。途中で時間に間に合わなくなり終了となった2年生には、肩に手を回し、「()回やったよ。すごいね。がんばったね。」と回数だけでなくねぎらいの言葉もかけています。最後まで頑張っていた2年生が終わると、自然とアリーナ全体に拍手が広がっていました。

最後に2年生と5年生が対面して活動の振り返りを行うと、5年生の応援があったから頑張ることができたという2年生がたくさんいることが分かりました。

1年生と6年生が、「西岐波万博」という活動を楽しんでいました。

これは、じゃんけん・ジェスチャーゲーム・パズル遊び・ボーリング・クイズ・貨物列車・絵しりとり・ケンケンパ・風船バレー・スプーンピンポンレース・紙飛行機当てというブースを、1年生や6年生の教室、アリーナ等に設定し、交流を楽しむ活動です。1年生と6年生がグループになって各ブースを回り、各ブースの進行は6年生が務めていました。当日までに6年生は物の準備や進め方の打合せなどを重ねていました。

6年生の姿を見ていると、ルール等の具体例を示しながらの説明、手作りの準備物やプレゼント品等の設置、オルガンやパソコン等も使った進行、投げ方等のコツのアドバイス、困ったときのヒント出し、「すごい!」と笑顔で拍手する賞賛、「大丈夫?」と1年生の目線まで膝を曲げて心配する声かけ等が見られました。1年生は、6年生の説明をしっかりと聞き、ルールに沿った活動を行いながら、6年生の支えとともに活動を楽しみ、笑顔もいっぱい広がっていました。

最後に各グループで集まって、活動の振り返りをしている場面では、1年生が楽しかったブースの様子を笑顔で話し、6年生が嬉しそうに聞いていました。

こうして6月は、学級内はもちろん、他学年との関わり合いも増え、学び育ち合う姿が、さらに広がっていく雰囲気を感じました。

(校長 川 西 俊 之)